

2016年度（2017年3月期）決算説明会における主な質疑応答

※ 説明会での質疑応答をそのまま書き起こしたのではなく、簡潔にまとめております。

【会社全体に関するご質問】

Q 福岡空港民営化について、西鉄グループに与える効果・期待について教えてください。

A ・ 福岡・九州のポテンシャルが上がり、あらゆる事業においてビジネスチャンスが出てくるのではなかと思う。今後地域の方々と一緒に検討していきたい。

Q 天神の再開発についてスケジュール等最新の情報を教えてください。当期業績予想に再開発関係の影響は織り込んでいるか。

A ・ 本社ビルである福岡ビルについては、建替えを着実に進捗させるため、関係者と協議を進めている。当期業績予想には、一定程度の減益を織り込んでいる。

Q 大名小学校跡地の活用について、進捗を教えてください。

A ・ 大名小学校跡地の活用については、福岡市の主導で進められている。
・ 当社が活躍できる場所があれば是非提案していきたい。福岡・天神がより良い街になることのお手伝いをしていくことが私どもの基本の考え。

【各事業に関するご質問】

<運輸業に関して>

Q 当期の減益予想について。主に減価償却費の増加により減益の見通しとのことだが、前期の熊本地震の影響が解消される反動で、当期は増益とならないのか。

- A
- ・ 新造車両導入等により鉄道事業で3億円、バス事業で5億円の減価償却費の増加を見込んでいる。
 - ・ またバス事業では、償却費以外にも軽油単価の上昇を見込んでおり、減益を予想している。

<物流業に関して>

Q 国際物流事業について、前期の減収要因と、当期増収を想定した背景について教えてほしい。

- A
- ・ 前期の減収のうち、円高による換算額の減少等の影響を除くと、実質的には若干の増収とみている。
 - ・ 当期は営業収益・利益ともに伸ばしたい。昨年10月頃から航空輸出が好調に推移している。特に伸びているのは半導体製造装置で、液晶装置・電子部品・デバイスのほか、主力の自動車部品も増加しており、当期も増加傾向が継続すると予測している。
 - ・ 為替レートは平成28年12月末の116円/ドルを使用。足もと円高基調であり収益は下振れる可能性はある。
 - ・ 足もと、海外子会社の第1四半期(1~3月)は順調に推移している。

Q 半導体や電子部品の動向を見ると、当期の夏場から生産量が増え、物量が一段と上がることが想定されるが、その動きは計画上織り込まれているか。

- A
- ・ 日本発の航空輸出では、半導体や電子部品等の生産量が増える見込みで織り込んでいる。

以上